

## 甘木駅周辺整備事業 整備方針（案）

1. 通勤通学等の利便性、駅を起点とした回遊性の向上に向けて、交通結節機能の強化を目指します。
  - ★ 国道322号からの出入り、バス・タクシー乗り場、一般送迎用乗降場等の利便性、安全性を強化します。
  - ★ 駅周辺での待ち時間の質の向上、駅から目的地までの交通・観光情報案内の充実等を推進します。
  - ★ 誰もが利用しやすい\*ユニバーサルデザインを推進します。  
\*ユニバーサルデザイン：年齢や障がいの有無などにかかわらず、多くの人々が利用可能であるようにデザインすること
2. 朝倉の魅力を実感できる、賑わいと憩いの核となる交流空間の創出を目指します。
  - ★ 市民や来訪者が日常的に集う、居心地のよい空間を実現します。
  - ★ 市民や事業者が朝倉の魅力を伝える活動、楽しみを生み出す活動等を行いやすい、活用に配慮した空間を実現します。
3. 市民や来訪者に愛される、朝倉らしいデザイン性の高い空間を目指します。
  - ★ 2つの駅とそれらに囲われた駅前広場等、駅周辺全体で統一的なデザインを実現します。
  - ★ 朝倉の風土やスケール感に調和した、市民や来訪者に愛される朝倉らしいデザインを目指します。
  - ★ 夜間も安心や楽しみが感じられる駅周辺となるよう夜間照明デザインに配慮します。
4. 持続的に賑わいを生み出すために民間と行政が連携した運営体制の構築を目指します。
  - ★ 賑わいと居心地の良さを持続的に生み出すために、行政のみによる管理運営ではなく、市民や事業者といった民間の力が活かされる民間と行政が連携した運営体制を構築します。
5. 駅を起点とした、歩いて楽しいコンパクトなまちを目指します。
  - ★ 都）甘木駅前線（駅前通り）、都）庄屋町持丸線（中央通り）等の歩道空間を充実し、歩いて楽しい道路空間整備を推進し、市街地への誘導を図ります。